



2.2

5歳未満の子供の発育阻害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。

3.3

2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。

真下 千穂
歯学部
細菌学講座

口腔細菌叢をよりよくすることにより、 口腔だけでなく全身も健康に保つ

口腔には、う蝕や歯周病の原因となる悪玉菌だけでなく、口腔を健康に保つのに貢献している善玉菌が存在していることがわかってきました。お口の健康を維持するためには、悪玉菌を減らすだけでなく、善玉菌を増やして、口腔細菌叢のバランスをよりよくすることが重要です。しかし、口腔細菌叢はどのような条件で変動するかについては不明な点が多いため、個々の細菌の役割を遺伝子レベルで明らかにする研究を行っています。

また、口腔善玉菌は口腔だけでなく全身の健康維持にも役立っていることがわかってきました。これまで知られていなかった口腔善玉菌の新たな働きを知ることにより、口腔を整えることは全身健康につながることを明らかにし、健康増進に貢献することを目指しています。



message

正しい知識と技術を習得した歯科医師の育成に貢献しています。

お口は全身健康への入り口であることを広く知って頂き、健康増進に貢献できればと考えています。